

■ 環境工学部会活動（1997年度～） ■

□ 環境工学部会 主査・幹事（1997年度以降）

年度	主査	幹事
1997年度	池田哲朗(近畿大学)	翁長 博(近畿大学)
1998～1999年度	新田勝通(大阪産業大学)	甲谷寿史(大阪大学)
2000～2001年度	野口太郎(関西大学)	倉橋岩夫(日本建築総合研究所) 阪上公博(神戸大学)
2002～2003年度	森本政之(神戸大学)	高田暁(京都大学) 北村薫子(武庫川女子大学)
2004～2005年度	吉田治典(京都大学)	宮本征一(摂南大学) 鈴木広隆(大阪市立大学)
2006～2007年度	河井康人(関西大学)	小椋大輔(京都大学) 佐々尚美(武庫川女子大学)
2008～2009年度	銚井修一(京都大学)	豊田政弘(京都大学) 鍋島美奈子(大阪市立大学)
2010～2011年度	相良和伸(大阪大学)	原直也(関西大学) 東実千代(畿央大学)
2012～2013年度	高橋大弐(京都大学)	竹林英樹(神戸大学) 奥田紫乃(同志社女子大学)
2014～2015年度	井上容子(奈良女子大学)	安福 勝(近畿大学) 佐藤逸人(神戸大学)
2016～2017年度	松下敬幸(神戸大学)	藤田浩司(近畿大学) 榊愛(摂南大学)

■ 1997年度

本年は昨年に引き続き「建築環境工学の研究動向」を主テーマとして3回研究会を開催した。

1. 7/25、岩田三千子「非常用照明の基準照度の検討」、翁長博「音声明瞭度・了解度に関する研究の現状と課題」
2. 1/24、新田勝通「多数室換気における多様性について」、平石年弘「室内空気に関するニオイの研究」
3. 3/28、桜井美政「持続可能な住まいを求めて」（ニュージーランド実験住宅からの報告）

■ 1998年度

本年は省エネルギー・接続可能な建築に関して2回の部会研究会を行った。

1. 4/27、Larry O. Degelman(米国テキサスA&M大学)による省エネルギーの設計ツールとしてのコンピュータシミュレーション利用」の講演／プレゼンテーションおよび討議が行われた。
2. 12/7、Prof. Silvia de Schiller(ブエノスアイレス大学)による「接続可能な環境のデザイン」と題する講演および討議が行われた。

■ 1999年度

1. 「第1回近畿環境工学シンポジウムの開催」（10/28）関西地域における建築環境工学研究の発展を願って、若手研究者を講演者に選び、視環境、都市温熱環境、湿気環境などについてシンポジウムを開催した。次年度に継続予定。
2. 「建築環境工学における職能と教育制度に関する討論会」（2/21）建築設計、整備などの分野では社会の中で職能が認められているが、建築環境工学分野は認知されていない現状であり、大学教育・研究の制度の改革を絡めて活発な意見の交換を行った。

■ 2000年度

1. 第1回（7/17、神戸大学、参加者：52名）音・熱・光の各部会からの推薦者による最近の研究発表に基づき部門間の研究交流を図った。
2. 第2回（10/26、関西大学、参加者：64名）
第2回近畿環境工学シンポジウムを実施した。支部研究発表会で発表した若手研究者を対象に公募し、

司会者推薦を含めた応募の中から選定した4件の発表があった。その他、支部研究発表会（6/18、発表件数100件）当日に懇親会を開催し相互の交流を深めた（参加者：104名）。

■2001年度

1. 第3回近畿環境工学シンポジウム（10月26日、大阪工業大学創立60周年記念館）
公募をもとに、大学院生を中心とした若手研究者に研究発表をしていただき、討論を深めることを目的として開催した。（研究発表：5件、参加者72名）
2. JABEEから見た建築環境工学の教育（11月30日、大阪市立大学 文化交流センター 大セミナー室）
1. アメリカにおける事例（京都大学 銚井先生）、2. 近畿における事例報告（大阪市大 永村先生）
3. 住宅品質確保促進法における音環境問題の取り扱いを中心に、財団法人日本建築総合試験所森本・阪口の両氏の講演および試験設備を見学（2001年4月27日、参加者：40名超）

■2002年度

1. 第4回近畿環境工学シンポジウム（9月2日、大阪市立大学文化交流センターホール）公募をもとに、大学院生を中心とした若手研究者に研究発表をしていただき、討論を深めることを目的として開催した。（研究発表：3件、参加者：75名）
2. 環境工学部会開催の日程に合わせ、初めての試みとして、若手研究者の相互啓発と交流を趣旨としたポスターセッションを開催。前半にショートプレゼンテーション、後半にはポスターを前にしての議論と懇親会が同時進行で行った。（12月16日、関西大学100周年記念会館、発表22件、参加者：113名）
3. 建築環境工学研究ベテランズシリーズ 第一巻 ベテランの先生にご自分の研究についてレビュー形式でお話しいただき、じっくりと時間をかけて討論することを目的とし、野口太郎先生（関西大学）にご講演頂いた。（3月26日、大阪科学技術センター701号室、参加者：50名）

■2003年度

1. 第5回近畿環境工学シンポジウムおよび建築環境工学若手研究者交流研究発表会を開催した。（12月4日、関西大学100周年記念会館）昨年に引き続き、若手研究者の相互啓発と交流を趣旨としたポスターセッションを開催した（発表17件、参加者：120名）。
2. 昨年に引き続き建築環境工学研究ベテランズシリーズ第二回目として、池田哲朗先生（近畿大学）にご講演頂いた。（3月26日、大阪科学技術センター405号室、参加者：42名）

■2004年度

- 9月29日に、建築環境工学若手研究者交流研究発表会を摂南大学にて開催し、（参加者：103人、社会人23人、学生80人）優秀なポスターを選考した（ユニーク部門、プレゼン部門、インパクト部門）。
- 3月3日に、建築環境工学研究ベテランズシリーズ第三巻を開催し、新田勝通先生にご講演頂いた。

■2005年度

- 6月18日に第1回部会及び近畿支部研懇親会、12月9日に第2回部会及び近畿環境工学シンポジウム及び若手研究者交流研究発表会（摂南大学 寝屋川キャンパス 参加者：85名）、3月3日に第3回部会及び建築環境工学研究ベテランズシリーズ第四巻を開催した。

■2006年度

- 1回目は、11月24日に近畿環境工学シンポジウム及び建築環境工学若手研究者研究発表・交流会を開催した。
- 2回目は、2月28日に建築環境工学研究ベテランズシリーズ第五巻と題して水野稔先生（大阪大学）に

ご講演頂いた。

■ 2007年度

1 回目は、7月13日に「ここまでできる『持続可能な生き方』 一人の解放のために―」という題目で櫻井美政先生にご講演頂いた。

2 回目は、11月9日に「昔の研究と建築環境工学のこれから」という題目で前川純一先生にご講演を頂き、近畿環境工学シンポジウム及び建築環境工学若手研究者研究発表・交流会を開催した。

3 回目は、3月6日に建築環境工学研究ベテランズシリーズ第六巻と題して佐藤隆二先生(大阪工業大学)にご講演頂いた。

■ 2008年度

1. 近畿環境工学シンポジウム+建築環境工学若手研究者研究発表・交流会(11月4日、大阪市立大学 学術情報総合センター、参加者:82名)

近畿環境工学シンポジウム:近畿支部発表会で発表された論文の中で、もう少し詳しく話してほしい研究にスポットを当てた。

建築環境工学若手研究者研究発表・交流会:若手研究者(博士課程・修士課程)が発表し交流を深めた。

2. 環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第七巻(3月6日、キャンパスポート大阪、参加者:57名)吉田治典先生にご講演頂いた。

■ 2009年度

1. 11月9日に環境工学シンポジウムおよび建築環境工学若手研究者交流研究発表会を開催した。(京都大学 桂ホール、参加者:90名)近畿環境工学シンポジウムにおいては、熱空気・光・都市環境の分野から、若手研究者に講演頂き、活発な議論が行われた。若手研究者交流研究発表会(発表者12名)では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 建築環境工学研究ベテランズシリーズ 第八巻を開催し、森本政之先生(神戸大学)にご講演頂いた。(3月1日、キャンパスポート大阪)

■ 2010年度

1. 近畿環境工学シンポジウム(11月2日、関西大学100周年記念会館ホール、参加者:103名)を開催した。熱空気・音環境の分野より若手研究者に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会(発表者26名)では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第九巻を開催した。(1月18日、キャンパスポート大阪、参加者:46名)磯田憲生先生(奈良女子大学名誉教授)に「人と温熱環境との関わり」をテーマにご講演頂いた。

■ 2011年度

1. 近畿環境工学シンポジウム(10月31日、関西大学100周年記念会館ホール、参加者:98名)を開催した。熱・湿気・視環境の分野より若手研究者に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会(発表者15名)では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 建築・都市の低炭素化実現に向けた連続シンポジウム 第2回建築分野の温暖化対策アクションプラン策定に向けて「関西の温暖化対策と低炭素化の実現」を建築学会近畿支部とともに主催した。

(10月24日(月)大阪市立大学文化交流センター・ホール)

3. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第十巻を開催した。(1月11日、キャンパスポート大阪、参加者:36名)森山正和先生(摂南大学教授)に「都市計画のための気候解析

と計画指針」をテーマにご講演頂いた。

■2012年度

1. 近畿環境工学シンポジウム（11月12日、神戸大学瀧川記念学術交流会館、参加者：119名）を開催した。熱・空気環境の分野より若手研究者に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会（発表者20名）では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第十一巻を開催した。（3月29日、キャンパスポート大阪、参加者：29名）河井康人先生（関西大学教授）に「音場解析あれこれ」をテーマにご講演頂いた。

■2013年度

1. 近畿環境工学シンポジウム（11月19日、神戸大学瀧川記念学術交流会館、参加者：114名）を開催した。熱・空気・湿気環境の分野より若手研究者に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会（発表者20名）では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第十二巻を開催した。（3月26日、キャンパスポート大阪、参加者：65名）銚井修一先生（京都大学教授）に「最近楽しく勉強していること」をテーマにご講演頂いた。

■2014年度

1. 近畿環境工学シンポジウム（11月26日、近畿大学BLOSSOM CAFÉ、参加者：102名）を開催した。若手研究者2名に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会（発表者18名）では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第十三巻を開催した。（3月4日、大阪産業大学梅田サテライトキャンパス、参加者：52名）高橋大武先生（京都大学教授）に「現象をみえるかたちに」をテーマにご講演頂いた。

■2015年度

1. 近畿環境工学シンポジウム（11月10日、近畿大学BLOSSOM CAFÉ、参加者：101名）を開催した。若手研究者2名に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会（発表者18名）では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第十四巻を開催した。（3月1日、大阪市立大学文化交流センター ホール、参加者：62名）相良和伸先生（大阪大学教授）に「様々なモデルとの出会い」をテーマにご講演頂いた。

■2016年度

1. 近畿環境工学シンポジウム（11月15日、摂南大学プチテアトルおよびスカイラウンジ、参加者：130名）を開催した。若手研究者2名に講演頂き、活発な議論が行われた。建築環境工学若手研究者交流研究発表会（発表者17名）では、投票によりプレゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および建築環境工学研究ベテランズシリーズ第十五巻を開催した。（3月2日、大阪産業大学梅田サテライトキャンパス、参加者：43名）松下敬幸先生（神戸大学教授）に「水と煙のはなし」をテーマにご講演頂いた。

■2017年度

1. 建築環境工学若手研究者交流研究発表会（11月2日、摂南大学プチテアトルおよびスカイラウンジ、参加者：116名）を開催した。18名がショートプレゼンテーションとポスターで発表し、投票によりプ

レゼン賞受賞者を決定した。

2. 近畿支部環境工学部会および近畿環境工学シンポジウム（3月12日、神戸大学インテリジェントラボラトリ、参加者：30名）を開催した。若手研究者2名に講演頂き、活発な議論が行われた。